

「北九州市スタジアム整備等PFI事業」の 事業者の決定について

PFI法（民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律）に基づき、下記の事業に係る公募（総合評価一般競争入札）を本年2月より実施し、このたび落札者を決定したのでお知らせします。

1 事業名称

北九州市スタジアム整備等PFI事業

2 事業地

北九州市小倉北区浅野三丁目

3 事業目的

本事業は、都心部に人が集い、にぎわいあふれる北九州市の創出を目指し、Jリーグやラグビートップリーグなどの試合、小中高生のサッカー・ラグビー大会、グラウンドゴルフ大会、子どもたちへの芝生開放などに加え、まちににぎわいを生み出すコンサートやイベントの開催など、市民に夢と感動を提供できるスタジアムを整備するものです。

事業手法については、民間のノウハウを活用することで、より質の高い市民サービスの提供、整備費の縮減、維持管理の効率化を図るため、施設の設計・建設から維持管理・運営を一事業者が一括して実施する「PFI事業」により実施します。

4 事業者選定方法

本事業の事業者選定に当たっては、入札価格及び提案内容によって落札者を決定する総合評価一般競争入札方式を採用しました。

また事業者の選定は、第一次審査で参加資格の審査を行い、第二次審査で、提案内容及び入札価格の審査を行いました。

第二次審査の提案内容の審査に関しては、学識経験者等で構成する「スタジアム整備等PFI事業者検討会」（以下「検討会」という。）にて行いました。

尚、検討会の構成員は以下のとおりです。

（敬称略、五十音順、所属等は検討会設置時）

	氏 名	所 属 等
座 長	竹下 輝和	九州大学大学院人間環境学研究院教授
副座長	内田 満	第24期北九州市スポーツ推進審議会 副会長
	青木 崇	(株)日本政策投資銀行 九州支店 企画調査課長
	河邊 政恵	第9期北九州ミズ21委員会 委員長
	窪田 慎二	公益社団法人 日本プロサッカーリーグフットボール統括本部 本部長
	羽田野 隆士	北九州商工会議所 専務理事
	姫野 由梨	姫野公認会計士事務所 公認会計士
	南 博	北九州市立大学都市政策研究所 准教授

5 落札者

本年2月から6月にかけて事業者の公募を行い、次の1グループより提案書の提出及び応札があり、検討会の審査を経て落札者として決定しました。

落札者は、九電工グループ

代表企業は(株)九電工で、グループの構成は全6社

- 設計・工事監理業務： (株)梓設計九州支社（福岡市）
- 建設業務： (株)奥村組九州支店（北九州市）
若築建設(株)北九州営業所（北九州市）
(株)九電工（福岡市）
- 維持管理・運營業務： 美津濃(株)（大阪市）
(株)日本施設協会（北九州市）

6 契約予定金額

10,727,629,690円（消費税及び地方消費税を含む）

（本施設的设计・建設、及び、施設完成後15年間の維持管理・運営費を含む費用）

7 検討会における審査結果

項目	配点	審査点数
提案書の評価点	60点	40.78点
入札価格の評価点	40点	40.00点
合計100点		80.78点

【評価すべき項目】

- ① 実績のある全国区企業と地元企業による相互連携体制
- ② スタジアムの顔となるスタジアムプラザを設置し、来訪者に存在感をアピール
- ③ 屋根は、船のマストをイメージする吊構造のデザインとし、新たなシンボル施設となる外観デザイン
- ④ 臨場感あふれるスタジアムを演出するため、ピッチとスタンド最前列との距離を近接させると共に、多彩なシートバリエーションの提供
- ⑤ 民間自主事業では、スポーツ振興イベントや健康増進イベントの企画・実施及び太陽光発電設備（196kW）を設置

【検討会からの提言（要旨）】

本事業を、より良いものとするため、以下の諸点に十分配慮するよう提言する。

- ① 官民協働による賑わいの創出
- ② PRにつながる施設設計やバリアフリー、ユニバーサルデザインへの配慮
- ③ 快適な観戦環境を提供するため、サイドスタンドに屋根の設置を望む
- ④ 良質な芝の維持管理
- ⑤ 市民や利用者の意見を反映した施設設計

8 今後の予定

平成26年8月	仮契約の締結
平成26年9月	事業契約の締結（議会承認後）
平成26年度下半期	基本設計、実施設計
平成27年4月	工事着手
平成29年3月	供用開始（Jリーグ平成29年シーズン開幕時）

9 提案イメージ図



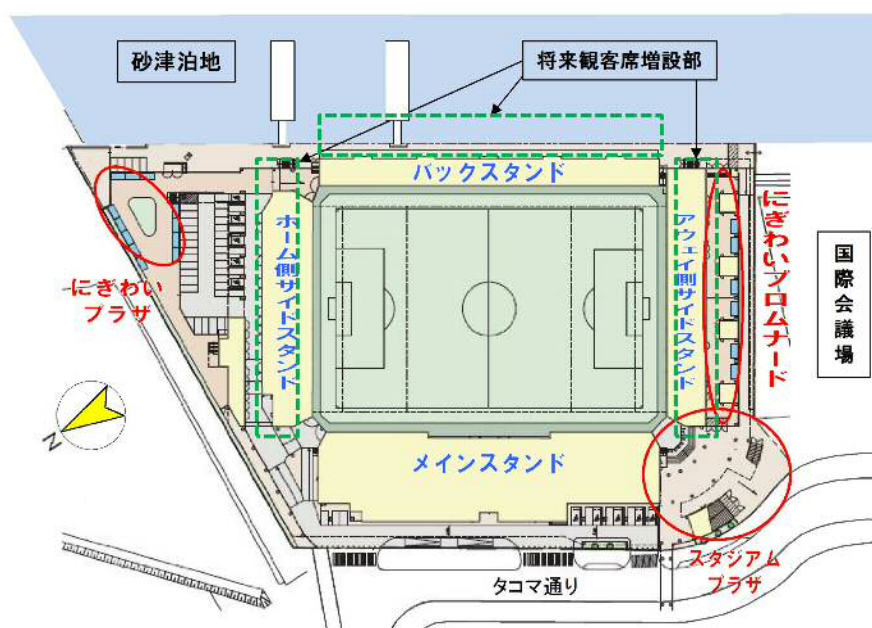
10 事業者からの提案概要

① 建築概要

- 観客席数 15,066席 (メインスタンド全面に屋根あり)
(将来的には、観客席数2万席へ拡張可能)
- 敷地面積 2.7ha
- 階数 6階建
- 構造 RC造一部S造
- デザイン
 - ・屋根は、船のマストをイメージする吊構造のデザイン
 - ・北九州市の新たなシンボル施設となる外観デザイン



② 配置平面図



1.1 事業者からの具体的な提案内容

① みんながつどい、にぎわいを生む、「海ちか、街なか」スタジアム

○ 立地条件を活かしたスタジアム

小倉駅新幹線口地区の拠点性を活かし、周辺施設との連携に配慮した施設配置とし、地区の回遊性を生み出し、地区の活性化に貢献します。



○ 施設の配置計画

- ・敷地中央にフィールドを配置し、その周囲4面に観客席を設置
- ・敷地北側には、イベント等を行う「にぎわいプラザ」を設置



にぎわいプラザ

- ・敷地南側に、スタジアムの玄関として施設の顔となる「スタジアムプラザ」と、飲食売店スペースを連続的に配置した、「にぎわいプロムナード」を設置。



スタジアムプラザ



にぎわいプロムナード

○ 市民へのスポーツ振興及び周辺地域を含めたにぎわいの創出

「スポーツ振興イベント」、「健康増進イベント」、「ギラヴァンツ北九州サポートイベント」等を自主事業として実施

② 夢と感動を生み出す「ダイナミック」スタジアム

○ 躍動感、臨場感にあふれたスタジアム

ピッチとスタンド最前列との距離が近接すると共に、最前列席では地面に近いところまで低くなっており、選手と観客の一体感を演出

○ 多様なファン層のため、多彩なシートバリエーション

VIP・スカイボックス・ビジネスシート、ファミリー席、一般席、車椅子用の席を設置

③ 環境未来都市にふさわしい「エコ」スタジアム

- メインスタンド屋根に196kWの太陽光発電設備を設置
- 建設材料にはリサイクル性の高い材料、人体や環境に影響の少ない材料を積極的に使用
- 高効率型蛍光灯やLED照明の採用、雨水の便器洗浄水使用等による省エネ、省資源化



太陽光発電施設設置イメージ

④ 地区の活性化を図るエリアマネジメントへの積極協力

- 小倉駅周辺の商店や各企業、団体等と連携・協力
- 小倉駅周辺の活性化と施設の有効活用のため、健康・スポーツ活動の魅力を伝えるマーケティング活動を提案

(問合せ先)

北九州市 建築都市局 都心・副都心開発室

電話 093-582-2502

担当 淵上・下田